

社会的要請（教育課題）

豊かな心
たくましく生きる力
自ら学ぶ意欲
変化に対応できる能力
基礎基本の重視
個性の伸長
国際理解
国の伝統
文化を尊重する態度

学校教育目標

共に生き、共に輝こう
豊かな学びとやさしい心、元気いっぱい夢にチャレンジ

児童の実態

食行動の多様化
偏った栄養摂取
生活習慣
孤食・朝食欠食

健康教育目標

生涯において心身の健康の保持増進を目指し、基本的な生活習慣を身に付け、健康的な生活ができる児童の育成

食に関する指導の目標

- 食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。
- 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。
- 正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。
- 食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心をもつ。
- 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。
- 各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。
- SDGsの視点から、牛乳パックのリサイクルに取り組み、環境に配慮する心を育てる。

学年別の発達段階に応じた食に関する指導の到達目標

低学年	中学年	高学年
・朝ごはんの大切さを知ろう。 ・いろいろな食品を食べよう。 ・家族と食べよう。	・朝食を食べて元気になるよう。 ・バランスよく食べよう。 ・食事を楽しく食べよう。	・朝食にどんなものを食べたらよいか知ろう。 ・主食・主菜・副菜のある食事をしよう。 ・家族の食事を作ろう。

目指す児童像 すすんで健康づくりに取り組む子

食事の重要性	心身の健康	食品を選択する能力	感謝の心	社会性	食文化
仲間との食事は心を豊かにすること。食事は規則正しくとることが大切であり、特に、朝食をとることは重要であることを知る。	手洗いやよくかむこと、よい姿勢や和やかな雰囲気作りは食事の基本。自らの食生活を見直し、栄養バランスのよい食事をとる。	学校給食にはいろいろな食品が使われていることを知る。食事の準備や後片付けは、安全や衛生に気を付けて行う。	食生活は、生産者をはじめ多くの人々の苦労や努力に支えられていることを知り、残さず食べ、感謝する心をもつ。	いろいろな人たちと給食を通じた関わりから望ましい人間関係を築く。協力したりマナーを考えたりし、楽しい会食をする。	自分たちの住む地域には、昔から伝わる料理や季節、行事にちなんだ料理があることを知る。諸外国の食文化について知る。

教科

教科での知識と給食との関連を図り相互に生かす。
家庭科・体育科・生活科・理科・社会科など。

道徳

食に関する心の触れ合いや人間関係を育てる。

給食時間

健康によい食事のとり方やマナーを身に付ける。
 ・毎日の「給食のおたより」の活用
 ・献立を通じた食指導
 ・個に応じた指導
 ・リクエスト等による食への興味・関心の向上
 ・日本各地の伝統食を伝える、郷土料理の提供
 ・他国の食文化を伝える、各国の料理の提供
 ・SDGsの視点で牛乳パックのリサイクル

特別活動

集団を通して自分の健康や食生活の問題点を見付け、よりよい生活を築こうとする実践的な態度を育てる。
 ・学級活動
 ・学校行事
 ・児童会活動
 ・クラブ活動

総合的な学習の時間

体験活動を通して健康を意識した生活の方法を考える。

家庭・地域との連携

連携・協力体制を深め、望ましい食生活や食習慣につなげる。
給食だより・学校保健委員会。

個別指導

一人一人の実態に応じた指導の実践をし、生活習慣の形成を図る。
 ・アレルギー児童、宗教上除去食への対応など。